

科目名 (英)	発達と老化の理解B (Study of Development and Aging B)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜、4時限目
【授業の学習内容】							
<p>発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識が理解できる。高齢者特有の心理及び疾病についての知識を学習し、生活上の留意点について理解できるようになる。</p> <p>※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格:看護師 ②医療機関に所属していた。主業務は内科及び整形外科部門を担当していた。※取得資格:看護師</p>							
【到達目標】							
<p>※高齢者の疾患について知識を持ち、介護福祉士としてどのように対処すればよいか判断できる。保健・医療・福祉の専門職の一員として連携と協力ができるようになる。</p> <p>大目標・・・「人間の成長と発達の基礎的理解」、「老年期の発達と成熟」、「老化に伴うことからのからだの変化と日常生活」、「高齢者と健康」について理解できる。 中目標・・・「老化に伴うからだの変化」、「高齢者と健康」、「保健医療職との連携」について理解できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	「老化に伴うからだの変化①」…老化に伴う心身の変化の特徴について理解できる。
2回目	「老化に伴うからだの変化②」…老化に伴う外見上の変化と日常生活への影響について理解できる。
3回目	「老化に伴うからだの変化③」…高齢者の免疫機能の変化について理解できる。
4回目	「老化に伴うからだの変化④」…感覚機能の変化と日常生活への影響について理解できる。
5回目	「老化に伴うからだの変化⑤」…咀嚼機能や消化機能及び運動機能の変化について理解できる。
6回目	「老化に伴うからだの変化⑥」…老化に伴う知的機能の変化と日常生活への影響について理解できる。
7回目	「高齢者と健康①」…高齢者の症状・疾患の特徴について理解できる。
8回目	「高齢者と健康②」…高齢者に多い病気とその留意点(生活習慣病)について理解できる。
9回目	「高齢者と健康③」…高齢者に多い病気とその留意点(骨・関節系・歯・口腔)について理解できる。
10回目	「高齢者と健康④」…高齢者に多い病気とその留意点(目・耳・皮膚・呼吸器)について理解できる。
11回目	「高齢者と健康⑤」…高齢者に多い病気とその留意点(腎・泌尿器・脳・消化器)について理解できる。
12回目	「高齢者と健康⑥」…高齢者に多い病気とその留意点(循環器・精神疾患)について理解できる。
13回目	「高齢者と健康⑦」…高齢者に多い病気とその留意点(介護保険の特定疾病)について理解できる。
14回目	「保健医療職との連携①」…保健医療職とのチームケアの必要性について理解できる。
15回目	「保健医療職との連携②」…保健医療職との連携のポイントについて理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書: 新・介護福祉士養成講座⑩「発達と老化の理解」(中央法規出版)	